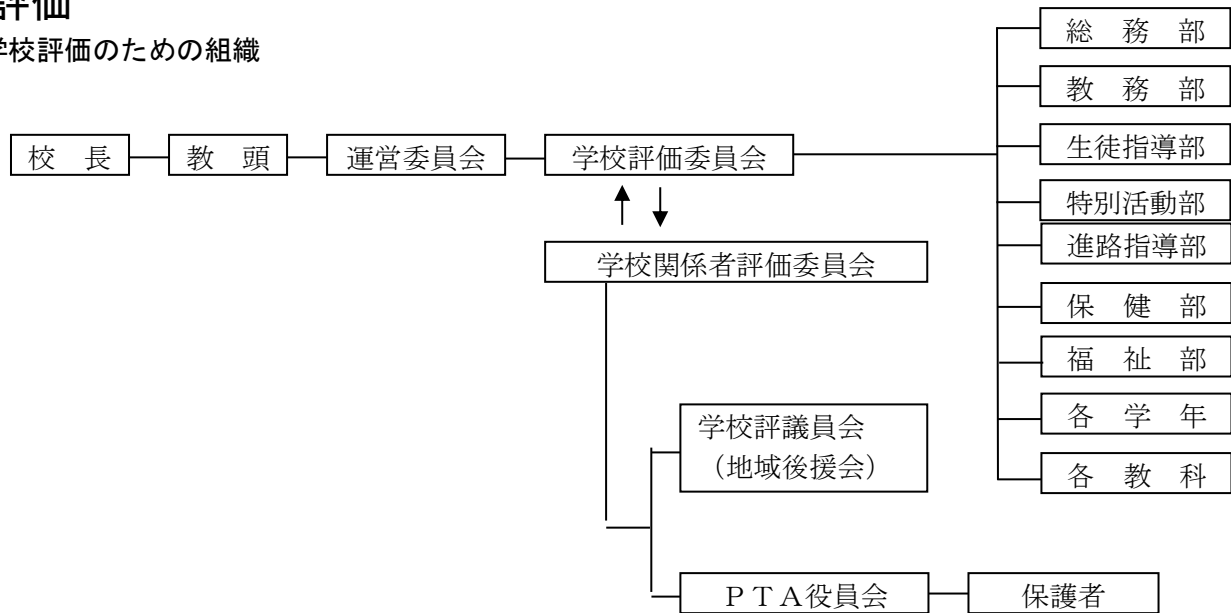


学校評価

(1) 学校評価のための組織



(2) 学校評価の年間計画

月	項目	内容
4	・学校運営方針の発表 ・重点目標の設定	・校長による学校運営方針の発表に基づく各分掌等の重点目標と具体的取組等の設定
5	・保護者への説明(P T A総会) ・ホームページへの評価結果の公表	・新年度の学校評価の重点目標の説明と公表 ・前年度の自己評価及び学校関係者評価結果の説明と公表
9	・第1次評価の実施	・1学期までの取組とその改善策の自己評価
10	・外部評価・中間評価の実施	・地域後援会(学校評議員会)、学校関係者評価委員会による中間評価の実施と学校評価委員会への報告
12	・第2次評価の実施	・2学期までの取組とその改善策の自己評価
2	・年度末評価の実施	・年度末評価の実施と課題に関する自己評価
3	・学校関係者評価委員会の開催	・自己評価・内部評価及び外部評価の実施と評価結果のまとめ

(3) 本年度の学校評価

本年度の重点目標	①基礎学力の定着を図り、自己の進路実現のための力を身に付けさせる。 ②遅刻をしないこと等の基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、自他を尊重する精神と豊かな情操を養う。 ③交通道德、規則遵守の精神を養うとともに、学習環境・美化を推進する。 ④家庭や地域との連携を密にし、地域に愛され貢献できる学校づくりに努める。		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
行事・儀式 防災・校史 地域連携 体験入学 学校評価 (総務部)	・式典・全校集会等の日程及び内容の検討	・講話者の担当時期を検討する。 ・創立50周年記念式典に向けて、全校集会時の生徒指導体制を確立する。	・式典・全校集会等で規律ある行動をとれるよう生徒への事前指導を徹底する。
	・広報活動の改善	・HPの充実 ・広報紙「はまぎく」の定期的な発行 ・中学生体験入学の日程見直し	・HP刷新に伴い、必要とされる情報を精選してこれまで以上に更新の機会を増やし、本校の情報発信の最大のツールにしていく。 ・校内新聞の要素を加え、校外へ情報提供するだけでなく、生徒自身が自らの活躍を確認できる媒体にしていく。 ・校内実施に伴い、生徒の活動の様子だけでなく、教員の指導の様子を見ていただく機会をもつ。

項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
学習指導 現職研修 図書指導 (教務部)	・家庭学習時間の確保と基礎学力の定着	・学習時間調査実施 ・不振者指導の充実	・学年と連携を取って成績不振生徒の学習指導、個別指導を行うことにより学習時間の確保を図る。 ・集会等の機会を捉えて学習意欲の喚起を図る。
	・新成績処理システムの構築	・校務支援システムの定着 ・成績処理システムについての研修の実施	・メソフィアのマニュアルをより充実させる。 ・メソフィアを利用して成績処理を迅速かつ確実に行う。
	・図書館利用生徒数の増加	・図書館活動の活性化 ・朝読の充実	・広報活動を通じて生徒の図書館利用の拡大を図る。 ・特に1年生での朝の読書の定着を図る。
生徒指導 交通安全 (生徒指導部)	・基本的な生活習慣の確立	・欠席、遅刻者数の減少と、身だしなみ指導、あいさつ指導の充実	・全職員一致体制であらゆる機会を通じ指導する。 ・地域、保護者、学年等との連携を図るとともに、教科指導や進路指導と連携し、挨拶指導を充実させる。
	・安全、安心が確保された学校生活の推進	・交通マナー、法規の遵守指導の徹底	・交通安全・モラル・マナーに関して生徒の意識が一層高まるよう、さまざまな場面で指導する。
L T 生徒会・部活動 ボランティア (特別活動部)	・部活動の活性化	・活動環境の整備	・各部活動の活動状況や問題点を把握し、より充実した活動ができるように改善する。
	・生徒会活動の活性化	・学校行事やHR活動における生徒の活動の充実	・たかこう祭実行委員を募集し、たかこう祭を生徒の手で成功させる。 ・HR役員の活動の場を増やす。
	・ボランティア活動の一層の推進	・活動状況の積極的広報	・生徒会広報紙「切磋琢磨」を利用し、活動内容の予告と報告を行う。 ・通学路清掃ボランティアの場所を地域への広報という観点から検討する。
進学・就職指導 キャリア教育 (進路指導部)	・進路指導	・積極的な調べ学習の推進	・進路情報を自らの意志で積極的に手に入れ、自ら判断して選択し将来の生き方を考えさせる。
	・就職指導	・コミュニケーション能力の向上	・就職試験のためだけでなく、就職後の仕事の場を具体的にイメージさせたコミュニケーション方法を考えさせる。日常の教員や目上の人に対する接し方を学ばせる。
	・キャリア教育の推進	・インターンシップに対する意識の向上	・自ら課題を持たせて、積極的にインターンシップに臨ませることにより、職業観を高めさせる。
保健・体育 相談 清掃・緑化 (保健部)	・健康で安全な学校生活	・相談活動の充実	・教育相談担当者会、学年主任連絡会、教育相談連絡会等を活用して、生徒の情報を早く収集し、教員の情報共有を図ることによって、迅速な対応を図る。
	・豊かな情操を育む環境美化活動の推進	・校内の清掃活動の活発化 ・PTAとの協力による緑化活動の推進	・美化委員会の活動を活発化させ、校内巡視等の活動を通して、校内美化に努める。 ・校内の花いっぱいボランティアにPTAの協力を依頼する。
福祉 ボランティア 資格取得指導 (福祉部)	・介護福祉士国家試験対策の充実	・教科指導の充実 ・特別学習の実施	・教員間の連携を図り、日々の教科指導を通して生徒の理解度を正確に把握し、個に応じた受験指導を行う。 ・実施時期に適した内容で特別学習を行い、国家試験受験に向けた実践力を身につけさせる。
	・情報発信と地域貢献	・愛知県高校生介護技術コンテスト参加 ・デイサービス「まごのて」の実施	・介護に関する知識や技術を高めるため、コンテストに参加する。 ・デイサービス「まごのて」を実施し、福祉科での3年間の学びの成果を地域の方々や家族に披露する。 ・ボランティア活動等を通して地域社会へ積極的に参加し、福祉科の魅力を伝えていく。

項目 (担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
学習・進路指導 生徒指導 (学年)	・ 基本的な生活習慣の確立と社会性の向上(1年)	・ 基本的な生活習慣と授業規律の確立 ・ 清掃の徹底と学習環境の整備 ・ コミュニケーション能力の向上(1年)	・ 分掌・教科等の職員間の連絡を密にし、生徒情報を共有することで、早期に効果的な指導をする。 ・ 学校のさまざまな場面で繰り返し指導する。(1年)
	・ 学校生活の充実(2年)	・ 部活動への取組み強化 ・ 学校の諸行事への積極的参加(2年)	・ 部活動に意欲的に参加できるよう促す。 ・ 学校の中核という意識を持って諸行事に取り組ませる。(2年)
	・ 目標に応じた進路の実現(3年)	・ 就職や進学に関して、自ら学び考える学習及び特別学習での学力充実(3年)	・ 生徒が自ら調べ学び考える機会とその方法を指導する。また、自らの目標に応じて特別学習に取り組ませる。(3年)
その他 (管理職) (関係分掌) (各種委員会)	・ 地域から信頼され愛される学校づくり	・ 地域から愛される学校づくり ・ 地域との積極的な連携強化を目指した教育活動の推進 ・ 部活動の活性化による地域貢献	・ 生徒や職員のあいさつの積極的な取組を地域にも拡大する。 ・ 生徒や職員が地域行事等に積極的に参加する。 ・ 校内行事立案には地域貢献の視点を含める。 ・ 部活動の一層の活発化を図る。
	・ 信頼される教員の育成	・ 生徒の指導や観察力の向上を目指した体制の構築と整備 ・ 厳しさの中にも愛情あふれる指導のできる教員の育成 ・ 指導力向上に資する取組みの継続的実施	・ 本校生徒に適した指導のノウハウを全教職員で共有するため、教員の現職研修や情報交換会を開く。 ・ 大学や外部の機関から講師を招き講演会を開催するとともに、本校の取組方法を明確にし定着を図る。 ・ 生徒の変化に早期に気づき、適切に対応できる教師力を育て、生徒や保護者から信頼されるとともに、すべての教員が適切な態度や指導法で対応できるように職員研修を充実させ、教員の資質の向上を図る。 ・ 生徒と十分なコミュニケーションを図り、教員が生徒を十分理解することにより、生徒の教員理解に繋げるようにする。 ・ 生徒に「わかる」、「できる」喜びを味わわせることができる教師を育成する。
	・ 危機管理体制の確立	・ 不祥事防止のための意識の向上と、教員相互の自浄作用機能の強化	・ 名札を着用して、常に教員としての自覚を持つとともに、自己点検や相互点検に努める。 ・ 分掌や学年会等での人間関係づくりを積極的に推進し、教員間の連携の強化を図り、互いに指摘し支援しあえる環境を整備する。
学校関係者評価を実施する 主な評価項目		・ 家庭や地域と積極的に連携し、地域に愛され貢献できる教育活動を展開することができたか。 ・ 自他を尊重する精神と豊かな情操を育み、自己の進路実現のための力を身に付けさせる教育活動が実施できたか。 ・ 学習環境を整え、安心、安全な学校生活を提供できたか。	

(4) 前年度の学校評価

ア 自己評価結果等

前年度の 重点目標	①基礎学力の定着を図り、自己の進路実現のための力を身に付けさせる。 ②遅刻をしないこと等の基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、自他を尊重する精神と豊かな情操を養う。 ③交通道徳、規則遵守の精神を養うとともに、学習環境・美化を推進する。 ④家庭や地域との連携を密にし、地域に愛され貢献できる学校づくりに努める。
--------------	--

項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
行事・儀式 防災・校史 地域連携 体験入学 学校評価 (総務部)	・行事・儀式の円滑な運営	・規律ある式典の実施	・全校集会等での表彰では、事前に該当生徒へ作法指導を行い、表彰される生徒としてふさわしい態度で臨めるようにした。
	・広報活動の改善	・HIP作成体制の見直し ・広報紙「はまぎく」の内容充実 ・中学生体験入学の内容の見直し	・写真部と連携し、行事等の報告を写真とともに掲載して学校生活を外部へ紹介する機会とした。 ・「はまぎく」を計10号発行し、外部への広報活動に活用した。また、来校者に見ていただけるよう校内各所に掲示した。 ・公民館使用の最後の年となり、大幅な内容の見直しは見送った。来年度以降は学校で実施することになるので、早めに日程等を検討していく。
学習指導 現職研修 図書指導 (教務部)	・家庭学習時間の確保と基礎学力の定着	・学習時間調査実施 ・不振者指導の充実	・学習時間調査を踏まえて各学年で生徒へ有効な働きかけをすることができ、家庭学習時間が伸びた。 ・不振者指導は各学年主導で体制を整えてできている。上位をさらに伸ばす指導体制が必要である。
	・新成績処理システムの構築	・校務支援システムの定着 ・成績処理システムについての研修の実施	・校務支援システムによる成績等の入力のマニュアルはより充実させることができた。システムの定着はまだ道半ばである。 ・各教科の成績処理システムも統一したものにし、よりミスのない体制を作りたい。
	・図書館利用生徒数の増加	・図書館活動の活性化 ・朝読の充実	・教務部だけでなく生徒・職員の図書委員で知恵を出し合って生徒の図書館利用者数の増加を図ったが、さらなる工夫が必要である。 ・朝の読書が図書館利用者数の増加につながるような働きかけができるとよい。
生徒指導 交通安全 (生徒指導部)	・基本的な生活習慣の確立	・欠席、遅刻者数の減少と、身だしなみ指導、あいさつ指導の充実	・遅刻者については全職員体制であらゆる機会を通じて指導した結果、遅刻総数を大幅に減少させることができた。
	・安全、安心が確保された学校生活の推進	・交通マナー、法規の遵守指導の徹底	・生徒の交通安全についての意識が向上するよう指導につとめたが目に見えての改善とまではいかなかった。次年度はより工夫してのぞみたい。
L T 生徒会・部活動 ボランティア (特別活動部)	・部活動の活性化	・活動環境の整備	・部活動特別延長の規定が明確化され、量から質へと活動内容を見直す必要が出てきた。
	・生徒会活動の活性化	・学校行事やHR活動における生徒の活動の充実	・募集したたかこう祭実行委員にたかこう祭オープニングでの活動の機会を与え、生徒の活躍の場を広げることができた。 ・HR役員の仕事量には差がある。HR役員の活動内容の規定を見直す必要がある。 ・生徒会広報紙「切磋琢磨」の今年度の発行は1回に終わった。
	・ボランティア活動の一層の推進	・活動状況の積極的広報	・夏期通学路清掃ボランティアでは、三河高浜駅前に旗を立て、ゴミの回収を行った。

項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
進学・就職指導 キャリア教育 (進路指導部)	・進路指導	・積極的な調べ学習の推進	・進路説明会・進路タイム・LTを通じて進路情報を提供することにより、第2進路室を積極的に活用させるように努めた。
	・就職指導	・コミュニケーション能力の向上	・授業前の挨拶や教員に対しての言葉遣いを日常から改善させることに努めた。また、場面に応じて適切なコミュニケーション方法の指導に力を入れた。 ・特別学習を通じて基礎学力を向上に努めた。
	・キャリア教育の推進	・インターンシップに対する意識の向上	・事前と事後の意識の向上を確認させて、職業観を高めよう指導した。
保健・体育 相談 清掃・緑化 (保健部)	・健康で安全な学校生活	・相談活動の充実	・教育相談担当者会、学年主任連絡会、特別支援教育委員会等を活用して、生徒の情報を早く収集し、教員の情報共有を図り、迅速に対応した。
	・豊かな情操を育む環境美化活動の推進	・校内の清掃活動の活発化 ・PTAとの協力による緑化活動の推進	・美化委員会で校内巡視活動を行い、校内美化に努め、有志により側溝の掃除をした。 ・校内の花いっぱいボランティアにPTAと教職員と有志生徒で取り組んだ。
福祉 ボランティア 資格取得指導 (福祉部)	・介護福祉士国家試験対策の充実	・教科指導の充実 ・特別学習の実施	・教員間の連携を図り、日々の教科指導を通して生徒の理解度を正確に把握し、個に応じた受験指導を行った。 ・実施時期に適した内容で特別学習を行い、国家試験受験に向けた実践力を身につけさせた。
	・情報発信と地域貢献	・愛知県高校生介護技術コンテスト参加 ・デイサービス「まごのて」の実施	・介護に関する知識や技術を高めるため、コンテストに参加した。今後は確実な成果につながる生徒への働きかけを考える。 ・デイサービス「まごのて」を実施し、福祉科での3年間の学びの成果を地域の方々や家族に披露した。 ・ボランティア活動等を通して、地域社会へ積極的に参加した。 ・近年生徒募集が課題であるため、福祉科の魅力を発信する方法を考えていく。
学習・進路指導 生徒指導 (学年)	・基本的な生活習慣の確立(1年)	・粘り強い指導と支援による学校生活の基礎の構築と社会性の向上(1年)	・学校生活への適応指導により、学習習慣や生活習慣を早い段階で確立させることができた。 ・周囲に配慮した行動を意識し生活させることができた。(1年)
	・学校生活の充実(2年)	・部活動への取組み強化 ・学校の諸行事への積極的参加(2年)	・部活動や生徒会活動に積極的に取組ませることができた。 ・文化祭やLTなどを通して集団づくりをすすめることができた。(2年)
	・個に応じた進路の実現(3年)	・就職や進学に関して、自ら学び考える学習及び特別学習での学力充実(3年)	・生徒が自ら調べ学び考える機会とその方法を指導することができた。 ・自らの目標に応じて特別学習に取り組ませることで、自発的な学習意欲を高めることができた。(3年)

項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
<p>その他 (管理職) (関係分掌) (各種委員会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域から信頼され愛される学校づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 地域から愛される学校づくり 地域との積極的な連携強化を目指した教育活動の推進 部活動の活性化による地域貢献 	<ul style="list-style-type: none"> 校内で行われている生徒や職員のあいさつの積極的な取組を地域へも広めた。 生徒や職員が地域行事等に積極的に参加した。 校内行事を立案する際は地域貢献の視点を含めた。 部活動の一層の活発化を図った。
	<ul style="list-style-type: none"> 信頼される教員の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の指導や観察力の向上を目指した体制の構築と整備 厳しさの中にも愛情あふれる指導のできる教員の育成 指導力向上に資する取組みの継続的实施 	<ul style="list-style-type: none"> 本校生徒に適した指導のノウハウを全教職員で共有するため、教員の現職研修や情報交換会を開いた。特に、中学校との情報交換会を多く持った。 講演会を開催できなかった。 生徒の変化に早期に気づき、適切に対応できる教員力を育て、生徒や保護者から信頼されるとともに、すべての教員が適切な態度や指導法で対応できるように職員研修を充実させ、教員の資質の向上を図った。 生徒と十分なコミュニケーションを図り、教員が生徒を十分理解することにより、生徒の教員理解に繋げることができた。 生徒に「わかる」、「できる」喜びを味わわせることのできる教員の育成に努めた。
	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理体制の確立 	<ul style="list-style-type: none"> 不祥事防止のための意識の向上と、教員相互の自浄作用機能の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 名札を着用して、常に教員としての自覚を持つとともに、自己点検や相互点検に努めた。 分掌や学年会等での人間関係づくりを積極的に推進し、教員間の連携の強化を図り、互いに指摘し支援しあえる環境を整備した。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> 家庭や地域と積極的に連携し、地域に愛され貢献できる教育活動を展開することができた。 自他を尊重する精神と豊かな情操を育み、自己の進路実現のための力を身に付けさせる教育活動が実施できた。 学習環境を整え、安心、安全な学校生活を提供できた。 		

イ 学校関係者評価結果等

<p>学校関係者評価を実施した主な評価項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域との連携を密にし、地域に愛され貢献できる教育活動を展開することができたか。 ・自他を尊重する精神と豊かな情操を育み、自己の進路実現のための力を身に付けさせる教育活動が実施できたか。 ・学習環境を整え、安心、安全な学校生活を提供できたか。
<p>自己評価結果について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や生徒会活動・部活動が盛んになり、学校生活全体が活性化した。また、地域行事やボランティア活動への参加・貢献などにより、学校・地域に元気を与え、本校の良さを校内外にPRできた。 ・福祉科生徒によるデイサービス「まごのて」や介護実習を通して、本校の福祉教育の質の高さとその成果を、各方面に発信することができた。また、この成果が生徒自身や職員の大きな自信となった。 ・生徒の学びを支援するための学習指導や生徒指導、教育相談を実践し、欠席や遅刻、早退数、特別指導の件数や成績不振者数を激減させた。特に、遅刻者数が前年度の3分の2となった。
<p>今後の改善方策について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道路や電車内、公共の場所等でマナーを守る等、生徒の規範意識を高め、社会の一員であることを認識し、自他共に尊重し、自己実現を目指した教育活動を行うことを今後も続けていく。 ・引き続き中学生や地域への情報発信を強化し、地域から信頼され愛される学校を目指す。
<p>その他(学校関係者評価委員から出された主な意見、要望)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ざっくばらんなカフェでSBP参加生徒が自信をもって発表していた。他にも、からくりBOOKS(電子絵本)、防災カルタ、鬼みちまつり等でのボランティアや吹奏楽の演奏等、高浜市の行事に積極的に参加している。積極的な姿勢に感心する。 ・三河高浜駅で出会う生徒のマナーが良いし、一般道路の通学態度も日々交通マナーを守り良くなった。 ・野球部の練習態度が立派である。地域への貢献、発信度が高く、積極的に関わる生徒が多い。地域から愛される学校になっている。誇りと自信をもってほしい。 ・卒業式が落ち着いていて立派であった。バスケットボール部の大会会場で体育館を使用した際、部員が素晴らしかった。中高の部活動交流をしたらどうか。 ・体育大会での学年の取り組みは自主性があり印象に残った。学力向上も大切だが、「人間力」を育てることを大切にしたい。 ・ホームページが充実されており、情報発信されている。しかし、更新がされていない部分があり、もう少し頻回にホームページの更新がされるとよい。 ・介護実習報告会では、充実した実習体験やしっかりとした発表ありとても良かった。中学生時代からの成長ぶりが感じられた。生徒たちの生き生きした様子、わかりやすい授業、丁寧な指導を心強く思う。
<p>学校関係者評価委員会の構成及び評価時期</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・構成…学校評議員4名(P.T.A会長を含む)、地域後援会役員13名、P.T.A役員等 ・評価時期…3月1日

(5) 経営管理上の問題点等

- ア グラウンド北側防球ネット10m高くし、1スパン増設
- イ 本館棟南側壁等爆裂補修
- ウ 部室出入り口鍵整備
- エ 下水道接続